冬のお昼寝

はく

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

冬のお昼寝

【コード】

N3803L

【作者名】

はく

【あらすじ】

ショートショートです。毎日がハッピーエンド。読む人の心を癒します。

何故に冬の昼寝はこんなに気持ちがいいのだろうか。

寒さから解放されるからなのか。

これは論文にする価値があるかもしれない。

「教授……、起きて下さい……、教授！」

誰だ？。

この私の楽しみを邪魔するのは？。

「おや？、君は……誰だ？」

「『誰だ？』じゃありませんよ。私です。助手のホダカです」

「うむ、よく見ると助手のホダカ君に似ているな。世の中には自分に似た人間が3人はいると言うからな。で、君は誰だ？」

「もう、教授！。寝ぼけないで下さい。助手のホダカです」

「それで、助手のホダカ君が私に何の用だね？」

「これを一緒に食べようとお持ちしたのです」

彼女の差し出した包みを見してみる。

甘い匂い。

「そうか。桜餅だな」

「もう、・・・本当に・・・女心には鈍感なのに、味覚には敏感なのですね」

「ん？、女心。女心と桜餅に関係があるのかね？」

「何でもありません！。いらないのなら、私1人で食べますよ」

「いや、いただきます。ここで食べなくては桜餅に面目がないからな」

「はいはい、もうそれでいいです。お茶もお持ちしましたよ」

桜餅の甘い匂いと日本茶の優しい香り。

悪くない。

「しかし、この季節に桜餅とは珍しいものだな」

「教授、知らないのですか？。2丁目の荻屋の桜餅です」

「知らん」

「29歳でこの大学の教授になり、33歳でその名を世界に知らしめた天才情報工学者の台詞がこれですか？。情報工学以外には全く疎いんですね。もう少し勉強して下さい」

怒られてしまった。

「それは宿題にさせてくれたまえ」

「はい、いいですよ。って、私に言わせるのですか」

「いや、私はだな。その桜餅と女心についての・・・」

「はい、ストップ！。お茶が冷めますよ」

「いただきます」

「どうぞ。召し上げね」

もう、私の気持ちも知らないくせに。

世界のカザマと言われる天才情報工学者の正体をどれだけの人が知
っているのだろう。

大学には海外からの留学生も多くいる。

全ては世界のカザマがいてのこそなのに。

当の本人はまるで他人事のようにだ。

私の気持ち。

大学に入った時からずっと、想って、今ここにいる。

憧れが恋愛に変わったのは・・・。

自分でもよくわからない。

でも、大好き。

他人には見せない姿、顔を私の前だけでは見せてくれる。

年上で、教えを受ける立場なのだけど……。

愛しい。

「ご馳走様でした」

「あ、はい。お粗末様でした」

こんな関係をどれだけ続けているのかな？。

でも、幸せ。

一緒にいられるだけで、それが今の私には幸せ。

「ホダカ君、宿題の答えなのだが……」

「いいですよ。別に……」

「いや、わかったよ」

「はい？」

「春になったら、桜餅を食べに行こう。一緒にだ」

「私がかまいませんよ」

「いや、まだ続きがある」

「はい……」

「毎年、一緒に食べに行こう。ずっと一緒に食べに行こう」

「はい」

「どうだね？」

「はい、……合格です」

「今までで一番難しい問題だったな」

嬉しくて、泣きそつ。

でも、暖かい。

冬なのに、こんなに暖かいなんて。

幸せ。

冬のお昼寝

(後書き)

ファンタジー小説『時空の羽』もよろしくね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3803/>

冬のお昼寝

2010年11月24日08時39分発行